

平成22年度第10回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成22年12月20日（月）14時30分～15時35分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	有蘭 幸司
総合管理学部長	三浦 章
地域連携センター長	篠原 亮太
学術情報メディアセンター長	津曲 隆
アドミニストレーション研究科長	黄 在南
熊本県公立高等学校長会会長	眞開 純洋
前熊本近代文学館館長	河原畑 廣
学校法人昭和女子大学理事	渡辺 満利子
オブザーバー：キャリアセンター長	山崎 健司

事務局：三角事務局次長、林田教務入試課長、馬場総務課長、高橋学生支援課長、阪本企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、枝國地域連携センター事務長、林企画調整室主幹、教務入試課木村教務班長、同課澤田参事

1 開会（進行：三角次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成23年度年度計画策定方針（案）について

事務局から、資料1に基づき、平成23年度年度計画策定方針（案）について、平成23年度は、第1期中期目標の6年間の最終年度となり、第1期中期計画の完全実施に向けて取り組む最後の1年間であることを前提として、策定にあたっての基本方針の他、留意点、分かりやすい記述への配慮についての説明及び、理事長・学長指示事項の案について説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 教員の採用について

事務局から資料 2-1 に基づき、文学部の教員の採用について、これまでの審査の経緯等について説明があった。続いて文学部長から資料 2-2 (会議後回収) に基づき、「日本近現代文学採用人事について、専門分野は日本近現代文学で、地域の研究にも携わりうるができることという条件をつけている。採用予定日は平成 23 年 4 月 1 日、職名は講師。43 名の応募者があったが、最終的に 2 名に絞った。木村洋氏は、徳富蘇峰などを中心に研究されており、蘆花研究への対応も視野に入れられている。地域との関わりも十分に対応していけるものと思われる。神戸大学で博士号を取得し、日本学術振興会特別研究員 PD である。面接の結果、研究業績、教育に対する熱意、面接の評価等を総合的に判断した結果、木村洋氏を採用することとしたい。」との説明があった。続けて半藤副学長から、12 月 6 日に全学資格審査委員会で、業績等を審査して、文学部から提案のあった者は講師での採用は適当であると判断したとの報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員の昇任人事について

事務局から、教員の昇任人事について資料 3 に基づき、「平成 23 年度の教員の昇任人事について、公立大学法人熊本県立大学職員の採用等に関する規則第 9 条に基づき、教育職員の昇任は、選考基準に定める基準により学部長が推薦し、教育研究会議の議を経ることとなっている。各学部からの推薦に基づき、文学部リチャード S レイヴィン准教授を教授に、文学部村尾治彦准教授を教授に、総合管理学部望月信幸講師を准教授に、計 3 名を昇任させたいという申請があった。」との説明があり、続いて半藤副学長から、平成 22 年 11 月 15 日に全学資格審査委員会を開催し、3 名の昇任は適当であると判断したとの報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 特任教授の任用について

特任教授の任用について、資料 4 に基づき山崎キャリアセンター長から、「文部科学省が実施する「大学生の就業力育成支援事業」に本学が申請し選定された取組である「自律と自立を目指す学生 GP 制度の創設」に専属的に一定の期間従事する非常勤講師として、特任教授と特任准教授または特任講師ということで公募した。任期は 1 年、通算契約期間 5 年。それぞれ 2 名ずつの応募があった。大園光氏は県内企業等との結び付きが強く、特定のプロジェクト等に関して必要な知識や経験を有しており、事業の実施にあたって適任であると判断し、特任教授として採用したい」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 学術情報メディアセンター語学教育部門の今後について

学術情報メディアセンター語学教育部門の今後について、資料5に基づき津曲学術情報メディアセンターから次の説明があった。「語学支援のワンストップサービス化を図るということで、学内の会議で文学部のレイヴィン准教授を「語学支援事業コーディネータ」として指名し、支援事業を進めてきた。図書館前の外国語教育センターのテークライブラリー室が活用されていないため、この部屋を利用して、『語学ラーニングcommons』を概念化して語学支援を行う。現在は個別学習をやるようになっているが、これをグループ学習ができるように部屋を改修する。ここを拠点にして語学支援の機能を強化する。平成23年度以降、LLC活用ガイダンスを行ったり、語学に関するアドバイス機能の強化を行う。オープンスペース化し、全学の語学支援をきちんとやっていきたい。」

4 その他

次回日程、1月24日(月)午後2時30分～ 第2大学会館2階特別食堂

5 閉会